

＜ 運営推進会議における評価様式例 ＞ ※公表用

【事業所概要】

法人名	NPO 法人 緩和ケア支援センターコミュニティ	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス) 三丁目の花や
所在地	〒819-0161 福岡県福岡市西区今宿東2丁目2番10号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

要介護状態にある高齢者に対し、住み慣れた地域・居宅において家庭的な環境と地域住民との交流のもとで「通い」「泊まり」「訪問」「看護」のサービスを提供し、利用者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことが出来るように支援しています。訪問看護ステーションと併設しており、事業所は徳島杉の床や梁に囲まれた、日当たりのよい南側で広々とした温もりのある明るい空間です。地域の要介護の方のケアだけでなく、看取りや医療ニーズの高い方の支援も行っています。また、地域連携に積極的に取り組んでいて、圏域内の介護、看護の連絡会に参加しています。地域づくりの活動として、地域の方と一緒に広場を定期的に関催しています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 11 月 8 日	従業者等自己評価 実施人数	( 18 ) 人 ※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2026 年 1 月 ____ 日	出席人数(合計)	( 15 ) 人 ※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 2 ) 人 <input type="checkbox"/> 市町村職員 ( 1 ) 人 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( 1 ) 人 <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 4 ) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 ( 0 ) 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 ( 1 ) 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 ( 4 ) 人 <input type="checkbox"/> その他 ( 2 ) 人		

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
				自己評価	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		職員の育成計画の提示を行い、スタッフが目標を持って業務に取り組み環境を作る	介護職スタッフに年度初めに目標を確認し、各自外部研修に年間通じて参加してもらった。また、外部研修については、報告してもらい、看護、介護スタッフで共有し所見記入するようにした。 内部勉強会は、事前に年間計画を立てたが、事業所の状況に応じて、必要な研修を随時取り入れながらおこなっている。	研修については昨年度よりも充実して、スタッフにも「見える化」ができるようになった。育成計画については、まだできていない部分も多く、来年度に各スタッフそれぞれに合った計画を作成し、共有できるようにする。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に対応した専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・個別ケア、個別レクレーションを実施する ・ケアに関することや、事業所運営の申し送りなどについて、わかりやすく情報共有できる仕組み作りを改善する	・季節のレクレーションで外出やイベントを計画して実行できている。 ・申し送りやカンファレンスを通じて、多職種間で意見交換や情報共有を行っている。	個別ケア、レクレーションについて実行できている 他職種間での意見交換や情報共有は達成できている	

	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>・外部の機関と連携を取り、情報共有、提供、提案を行っている</p>	<p>退院前カンファレンスや担当者会議で多職種と家族が情報共有し、在宅移行と緊急時対応がスムーズに行える体制を整えている。 運営推進会議での報告を通じて、利用者・家族・地域へ必要な支援情報を提供している。</p>	<p>他職種、家族と情報共有が行われている。運営推進会議でも地域の方の課題について情報提供ができています。</p>	
<p>III. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)</p>	<p>・地域の役員の方、障がい関係の方、ボランティア団体などと一緒に活動して地域のコミュニティ作りのお手伝いをしている</p>	<p>運営推進会議では毎回複数の方が参加しており、地域のコミュニティの役割を果たしている。</p>		
	<p>IV. 進捗評価 (評価項目 45～47)</p>	<p>在宅生活が出来るだけ長く維持できるように事業所全体でその人のステージ毎に対応する</p>	<p>定期的なモニタリングや多職種連携を通じて課題を共有し計画を見直しながら、必要なケアと助言を行い、家族と協力して在宅生活や見取りを安心して続けられるよう支援している。</p>		

※「進捗評価 (運営推進会議における意見等)」には、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。その他の欄は、事業所が記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	改善計画 (案)	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	職員の育成計画の提示を行い、スタッフが目標を持って業務に取り組み環境を作る	
II. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に対応した専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p> <p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p> <p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)</p>	
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	スタッフ自己評価の達成率をあげる	

※「改善計画 (案)」には、事業所としての案を記載します。「運営推進会議における意見等」は、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価			運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できて いる	あまりで きてい ない		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>						
<b>(1) 理念等の明確化</b>						
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践						
1	○ サービスに求められる「①医療 ニーズの高い利用者の在宅生 活の継続支援」、「②在宅での看 取りの支援」、「③生活機能の維 持回復」、「④家族の負担軽減」、 「⑤地域包括ケアへの貢献」を 含む、独自の理念等を掲げている	14	5			<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	9	8			<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おお よそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	2	8	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</li> <li>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</li> </ul>
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	7	9	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</li> </ul>
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	9	9				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おお よ そ お お ま り で き て い な い	あ ま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	16	2			✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の観点から、充足度を評価します	
		[具体的な状況・取組内容] 運営推進会議の内容は議事録やミーティングで共有されている					
② 職員が安心して働くことのできる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができ、 きる就業環境の整備に努めている	10	7	1		✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のため の支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます	
		[具体的な状況・取組内容] 職員同士が助け合い、相談しやすく休みも取りやすい協力的な職場環境が整っており、安心して働いている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おお よそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	6	12			<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの観点から、充足度を評価します</p>	
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	1	15	2		<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おお よそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
②	災害等の緊急時の体制の構築						
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	6	9	3		<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>	
<b>II サービス提供等の評価</b>							
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	6	12			<p>✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</p> <p>✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価			運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	5	13			<p>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</p>
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成						
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	5	13			<p>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	4	13			<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おお よそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	4	14			<p>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</p>	
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	5	13			<p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</p>	
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b> 利用者や専門職が連携し、利用者の変化やリスクを共有・話し合いながら、柔軟で個別化されたケア計画を作成している</p>					
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b> 利用者の状況変化を日々把握し、家族や専門職と連携しながら、柔軟な個別ケアを行っている</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価			運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い		
②	居室への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映					
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居室での生活状況の変化を継続的に把握している	5	13			<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居室での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居室での生活状況を把握するためにも重要です</p>
③	利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有					
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	5	13			<p>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おお よそ でき てい る	あまり でき てい ない	全 く でき てい ない		
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
<b>① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供</b>							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	6	12				<p>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</p>
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	11	7				<p>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おお よそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
②	看護職から介護職への情報提供および提案						
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	3	15				<p>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</p> <p>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</p>
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	14	2			<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b> 利用開始時や定期訪問で利用者・家族へ説明と確認を行っているが、理解度には差があるため、分かりやすく伝える工夫を続けている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	16				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] 定期訪問や担当者会議で丁寧に説明し、利用者や家族が納得する形で同意を得ている。本人の理解が難しい場合もある。							
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	5	13				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] 看護師を中心に医療ケアや機器の扱いを事前に説明・指導し、訪問時に家族の理解を確認しながら必要な支援を行っている。							
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	6	12				✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] 利用者本人の意思を最優先にしつつ家族の意向も丁寧に聞き取り、定期的な訪問や話し合いを通して希望を把握し、可能な限りサービス内容へ適切に反映している。							

番号	評価項目	事業所自己評価			運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよ そ でき てい る	あまり で きてい ない		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	5	13			<p>✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上で、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します</p>
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	11	7			<p>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	8	9	1		<p>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</p>	
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる	2	15	1		<p>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</p> <p>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価			運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築						
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	4	14			✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>						
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討						
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	2	16			✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できて いる	あまりで きてい ない	全く できて いない		
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	4	14			<p>✓ 「誰でも見ることのできる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの観点から、充足度を評価します</p>	
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	3	13	2	<p>[具体的な状況・取組内容] 記録や議事録は誰でも閲覧できるようにプリント配布して職員全体で情報共有できる体制が整っている。</p> <p>[具体的な状況・取組内容] 駅への掲示やチラシ配布、ボランティア養成講座や地域イベントなど、地域に向けた広報・啓発活動を継続して行っている。</p>	<p>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</p> <p>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</p> <p>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</p>	
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	2		1		<p>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、「具体的な状況・取組内容」欄に「指定なし」と記入してください</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよ そ でき て い る	あまり で き て い ない	全く で き て い ない		
②	医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ						
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができ、体制が整っており、積極的に受け入れている	13	5				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します</li> </ul>
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができ、体制が整っており、積極的に受け入れている	3	4	7	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価			運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できて いる	あまりで きてい ない		
37	○ 「看取り支援」を必要とする要 介護者を受け入れることができ る体制が整っており、積極的 に受け入れている	16	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れられることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の観点から、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>						
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解						
38	○ 管理者および職員が、行政が 介護保険事業計画等で掲げて いる、地域包括ケアシステム の構築方針や計画の内容等に ついて理解している	1	16	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その 充足度を評価します</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築に あたっては、その中で各々が果た すべき役割を、明確に理解するこ とが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方 針や計画などが無い場合は、「全 くできていない」</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよ そ でき てい る	あまり で きてい ない	全く でき てい ない		
②	サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開						
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	10	8				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</li> <li>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</li> </ul>
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等						
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	2	16				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</li> <li>✓ そのような取組をしたことがな</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足  い場合は、「全くできていない」
		よく でき ている	おおよ そ でき てい る	あまり で きてい ない	全く でき てい ない		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	3	15			<p>「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている→8 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている→8 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 定期的なモニタリングやカンファレンスで状況を共有し、課題を把握して計画を見直しながら、目標達成に向けてチームで取り組んでいる。		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている→6 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている→10 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 家族面談や医師連携、迅速な対応を通して必要なケアと助言を行い、安心して在宅生活を続けられるよう支えている。		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	<p>○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている</p>	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている→9 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている→7 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b> 家族と多職種で話し合いながら情報共有を行い、医師と連携して必要なケアや助言を行うことで、在宅で安心して見取りに向き合えるよう支援している。</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>

令和7年度 事業所評価 三丁目の花やについてのアンケート（地域の方用）

●今回配布しました事業所評価について、お気づきの点や、ご意見・ご感想がございましたら、ご自由にお書きください。

・育成計画の作成が難しいのだというのは心情的には理解できますが、ここは重要だと思います。優先順位を上げて取り組むことが大切だと思います。

・ご家族の方とのコミュニケーションは、よくとれていると思います。職員の方も、お忙しい中研修等しっかりされていると思います。

・資料をまとめられるご苦勞があられたと思います。41番を深く掘り下げる必要があるのではと感じました。

・22について…

基幹センターへ来所や電話で相談される方に対してサービスの趣旨、特徴等について情報提供する時は「どう伝えればイメージしやすいか」を意識して説明する工夫を行っています。どの事業所においても理解してもらうための伝え方を考えられていると思いました。

・人材育成の難しさはどこも感じている課題だと思った。難しい人を受け入れて覚える（技術等を）ことも、大変だと思うが、簡単に受け入れる事も難しいのは理解できるので、研修の開催や参加が大事だと考える。

・災害時のマニュアル整備については、実際にシュミレーションを行って、改善点等を確認、検討しながら進められたい。

・ヒヤリハットに関して…

事故・ヒヤリハットを皆で共有していると記載されていますが高齢者の方への共有なので表現が難しいと思いますが具体的にどのようにされているのでしょうか。例えば、絵図に描いているとか？

・災害などの緊急時における対応についてに関して…

災害などの緊急時においても、サービスが提供できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されていると記載されていますが、地震、大雨、台風などの自然災害時にはどのような対応をされるのですか？

●三丁目の花やについて「良いと感じている点」「安心できる点」「特に評価できる点」などがございましたら、どんなことでも結構ですのでご記入ください。

・職員が理念を理解し、実践されていることは素晴らしい。

・ヒヤリハットを読んで、細かいところまで気づかないといけないのだなと感じました。気の抜けないお仕事ですね。

・お困り事の相談所というイメージがあります。ただ知らない方にとっても“介護施設のひとつ”という目線だと思います。

・33について…

運営推進会議を通して、広報・啓発活動を積極的に行われている印象を受けています。

・職場環境に良い意見が多く、助け合いができているのだと感じる。

・地域との関わり、連携について、積極的に取り組まれていると思います。三丁目の花やの強みは介護全般において、福岡市でも高水準だと思っています。しかし、この地域作りにおいても他のエリアを含めても真似ができないぐらいの力だと思っています。

・ひまわりさんさん広場の開催を通じて、地域、学校の子ども達と交流が図られ、ボランティアの育成や施設への理解に役立っている。

・在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際には対応方針を利用者、ご家族にも相談・共有されていることはとても安心できます。

・看取り支援を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れておられることはとても良いと感じました。(看取りについては在宅ホスピスを語る会に参加して知識を深めます。

●ご利用の中で「もう少しこうしてほしい」「今後改善されるとより良いと感じる点」「気になっていること」などがございましたら、差し支えない範囲でお聞かせください。

・安全管理について、あまりできてないという評価をされている方がいらっしゃることは気になります。急ぎ改善が必要だと感じます。

・介護のことだけでなく、さんさん広場やコンサート等に地域の方々に参加していただくことで地域との交流をはかっていること、よい活動をしていらっしゃると思います。

・どこの施設もこのような会議をしているのですか？

・技術経験を積むのは支援していく実践しかないと思うが、まずは知識からということであれば、職場内で小規模な研修を行うのも良いのではと思います。実際に自分で調べることで身につくと思うので。業務の負担にはなりますので短時間、少人数(2~3人)で行うのも良いかと思います。

・運営推進会議の際、イス等がない分足が痛い人が多いのでは？と感じてしまいます。

令和7年度 第 回 運営推進会議 三丁目の花やについてのアンケート(ご本人ご家族)

資料配布 15名 回答 4名

- (1) 職員は、ご家族の困っていること、不安、求めていること等の話をよく聞いていますか？
1. よく聞いてくれる→3名                      2. まあ聞いてくれる→1名  
3. あまり聞いてくれない→0名                4. 全く聞いてくれない→0名
- (2) 事業所でのご本人の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、ご家族に報告がありますか？
1. よくある→1名                                  2. ときどきある→2名  
3. ほとんどない→1名                            4. 全くない→0名
- (3) 職員は、ご本人の介護計画をご家族にわかりやすく説明し、一緒に、内容に関する話し合いをしていますか？
1. 説明を受け一緒に話し合っている→4名  
2. 説明は受けたが話し合っていない→0名  
3. 説明も話し合いもない→0名
- (4) 職員は、ご本人の思いや願い、要望等をわかってきていると思いますか？
1. よく理解している→2名                      2. まあ理解している→2名  
3. 理解していない→0名                        4. わからない→0名
- (5) 職員は、ご家族やご本人のその時々々の状況や要望に合わせて、柔軟な対応をしていますか？
1. よく対応してくれる→4名                  2. まあ対応してくれる→0名  
3. あまり対応してくれない→0名            4. 全く対応してくれない→0名
- (6) 事業所のサービスを利用することで、ご本人の生き生きとした表情や姿が見られるようになりましたか？
1. よく見られる→3名                            2. ときどき見られる→1名  
3. ほとんど見られない→0名                  4. わからない→0名
- (7) ご本人は、職員に支援されながら、戸外の行きたいところへ出かけていきますか？
1. よく出かけている→1名                      2. ときどき出かけている→1名  
3. ほとんど出かけていない→1名            4. わからない→1名  
無回答→1名
- (8) 事業所のサービスを受けていて、健康面や医療面、安全面について心配な点はないですか？
1. 全くない→1名                                  2. あまりない→1名  
3. 少しある→0名                                4. 大いにある→1名

- (9) 事業所は、ご家族が気軽に訪ねて行きやすい雰囲気ですか？
1. 大変行きやすい→1名
  2. まあ行きやすい→2名
  3. 行き難い→0名
  4. とても行き難い→0名
- (10) ご家族から見て、職員は生き生きと働いているように見えますか？
1. 全ての職員が生き生きしている→4名
  2. 一部の職員のみ生き生きしている→0名
  3. 生き生きしている職員はいない→0名
- (11) ご家族から見て、ご本人は今のサービスに満足していると思いますか？
1. 満足していると思う→3名
  2. どちらともいえない→0名
  3. 不満があると思う→0名
  4. わからない→1名
- 無回答→1名
- (12) ご家族は、今のサービスに満足していますか？
1. 大変満足している→4名
  2. まあ満足している→0名
  3. 少し不満がある→0名
  4. 大いに不満がある→0名

●これまでに配布しました運営推進会議の資料や内容について、お気づきの点やご意見・ご感想がございましたら、どうぞ自由にお書きください。

- ・皆さん、親身になって接していただいて大変ありがたいと思います。
- ・地域はじめ参加者が多く驚いている。大変良いことだと思う。  
家族として参加したいがまだ出席できていないのが残念だ。
- ・本人について今、私がどうしてやればいいのか、これからどうなっていくのか不安です。  
早く私の手からはなしたい、もういなくなってしまう方がいいと時々思います。いつになったらこの状態から抜け出せるのか、日に日にのしかかってきます。

●三丁目の花やについて、「良いと感じている点」「安心できている点」「特に評価できる点」

などがございましたら、どんなことでも結構ですのご記入ください。

- ・皆さん、親身になって接していただいて大変ありがたいと思います。
- ・建物が自宅と思わせるような作りになっており、我が家と感じさせる。違和感がない。
- ・ボランティアの方々がいろいろな事に参加、企画されているようで明るく楽しい場所だと思う。
- ・いつも患者本位で対応していただいて本当にありがたいと思っています。「通い」から帰って今日はどうだった？と聞くと「楽しかった」「おもしろかった」とニコニコしながら言います。

今の課題は我が家にいる時です。うちではことあるごとに「どうするの?」「何をするの?」と数分毎に聞きます。何も出来ない、することがない、つい「うるさい」と言ってしまいます。

- ご利用中の中で、「もう少しこうしてほしい」「今後改善されるとより良いと感じる点」「気になっていること」などがございましたら、差し支えない範囲でお聞かせください。
  - ・今のところ気になる事はありません。
  - ・着替えはほぼ全面的に、食事も半分くらいは口に持って行ってやらないと手で食べる(うまく食べれない)。月2~3回の尿・便失禁、トイレに行ってもどうすればいいかわからない。それより困るのがうちに居る間何をしたらいいのか、何もできないのが一番つらい。
  - ・寝るとき何度も起きてくる、10回くらい(多い時には20回くらい)一緒に寝ても私を起こし「どうしたらいいのか?」と聞きます。もう限界かと時々思います。